

平成29年度「市長と語り合う会」について

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
8月 3日（木）	真砂地区振興センター	19:00～20:10	17	4	21

- 市側出席者
市長、副市長、総務部長、秘書広報課長

2 会の概要

- 開会（秘書広報課長）
 - ・会の趣旨説明
 - ・出席者紹介

- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

平成29年度施政方針

① 企業との連携

施政方針の大きな柱の一つとして、地元企業との連携を強化するということを掲げている。

これに基づいて今年度は、子育てを支援する企業について「益田子育て応援宣言企業」という登録制度を設け、また、UIターン者の定着に力を入れて取り組む企業を「UIターン者サポート宣言企業」という形で登録させていただいている。

加えて、先般は、市が進める五輪キャンプ誘致、或いは自転車のまちづくりに関して、これに協力する企業の登録制度を設けたらどうか、というご提案を民間企業の方からいただき、今、検討しているところである。

こうしたことで、市が展開する施策や進む方向と同じ向きで取組を支援していただける企業との連携を深めたいと考えている。

② 空港利用拡大

萩・石見空港東京線は平成26年3月から2往復運航となっているが、来年春以降の継続の有無は今年の秋頃に決まるとされている。

大きな指標となる搭乗者実績は、これまでのところ目標を下回る厳しい状況にあるが、現在、様々な方面に協力をお願いして利用促進に努めている。また、搭乗実績のほか、空港を活用した当地域の振興策等を示すことも重要なこととなる。最近では、首都圏の大学と連携協定を結び、首都圏から学生を招き、或いは、益田の学生が首都圏の大学で学びの機会を得るという動きも進めている。

この路線を確保することが、地域活性化になくてはならない重要な要素となるので、市民の皆様の広いご理解とご協力をお願いしたい。

③ 東京五輪キャンプ誘致について

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける自転車ロードレース競技の事前キャンプ誘致を進めている。ここ数年、市内でINAKAライドやチャレンジャーズステージなどの競技が定期的開催され、本競技に対する機運が高まっている。それに応じて誘致に取り組んでいる。

具体的な誘致国については、できれば年内に絞り込みを行い、来年5月のホストタウン登録を目指すこととしている。

誘致が実現した際には、益田市の知名度向上やスポーツの振興、交流人口の拡大などに加え、オリンピック・パラリンピックの持つ崇高な精神に市民の皆さんが触れることのできる素晴らしい機会になると考えている。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は、別紙のとおり。

- ① 小中学校の耐震化について
- ② 市道久々茂柿原線について
- ③ 除雪対応について
- ④ 市道の管理について
- ⑤ 市道真砂都茂線について
- ⑥ 食の安全について
- ⑦ 屋外拡声器の設置について
- ⑧ 災害時の休校判断について
- ⑨ 市道大峠線について
- ⑩ 地域自治組織について
- ⑪ 小中学校校舎改築後の対応について
- ⑫ 市営住宅の入居条件について

○ 閉 会 （秘書広報課長）

平成29年度「市長と語り合う会」

〔会場 真砂地区振興センター〕 開催日時：平成29年8月3日（木）19:00～20:10

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 小中学校の耐震化について 学校の耐震化が進んでないため、子どもたちは長い間危険な状態にあり、地元としては早く実施してほしいと思っている。いつ実施する予定か。</p>	<p>①学校の耐震化については、近年、一定程度の見直しをかけており、中学校よりも小学校を優先して行うことを決めている。そうした中、真砂小学校の改築にあたっては、様々な条件や課題を整理しながら、なるべく早く取組んでいきたいと考えている。 厳しい財政事情や市内に幾つか改築の必要な学校がある中で、現在は1年に1校ずつ整備を進める状況にあり、現段階では、はっきりとした改築の時期をお示しすることができない。</p>
<p>② 市道久々茂柿原線について 継続事業として久々茂柿原線の改良工事が進んでいる。本年度の着工はいつごろか。また予算は幾ら計上されたのか。</p>	<p>②現在、入札手続き中で8月上旬には業者決定の予定。本年度の予算額は2,450万円。（後日回答）</p>
<p>③ 除雪対応について 除雪に関する市の対応マニュアルは、市職員が現地の積雪量を測定し、必要な基準を満たせば、その後に業者へ依頼するもので、実施までに非常に時間を要している。これについて、当時の市管理職は「本年度からは対応を変えます。」と言ったが、先の自治会長会議の配布資料を見ると、全くこれが改善されていない。美都、匹見地域は本基準の適用外とのことであるが、真砂も両地域同様に雪の多い地区なので、同じような取扱いをするよう改めてほしい。</p>	<p>③要望の趣旨を担当課に伝え、柔軟な対応ができるよう改善を図りたい。</p>
<p>④ 市道の管理について 市道側溝が掃除されてないので、そこが猪等の住処となっている。市道の管理をきちんとしてほしい。</p>	<p>④市道に関しては、要望が多々ある中で、それに対応できてないのが実態である。優先度の高い案件から随時進めていくのでご理解願いたい。</p>
<p>⑤ 市道真砂都茂線について 市道真砂都茂線のトンネル内に外灯はあるが、明かりが灯ってない。安全上、問題があるので対処してほしい。</p>	<p>⑤確認をして対応したい。</p>
<p>⑥ 食の安全について オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致等で海外から選手を招く際、日本の食事や食材が外国の方に受け入れられるかどうか、という問題が出てくると思う。その対策を考えた方がよいのでは。</p>	<p>⑥宗教上の理由等で食べ物の制約がある場合は別として、日本は世界の中でも食の安全性や衛生基準等が高い方にあるので、問題ないと想像する。</p>

<p>⑦ 屋外拡声器の設置について 当集落には屋外用の拡声器がない。不審者や災害等、住民の安全に関わる様々な情報を流すための拡声器の設置を検討してほしい。</p> <p>⑧ 災害時の休校判断について 7月5日の大雨特別警報発令時、市は、小中学校を休校とする判断をされた。小学生の中には、保護者が不在で、日中1人になる子供もいる中、そうした状況を考えたうえで休校という判断をすべきでないか。</p> <p>⑨ 市道大峠線について 過去に、大峠ダムを造る際の作業道として利用されていたが、現在はバス路線となっている。周辺の土質調査は行われているものと思うが、3、4年前には災害により道路がズレたことがあり、管理について今一度徹底してほしい。</p> <p>⑩ 地域自治組織について 当初、モデル地区に選定された5地区のうち、2地区ほど組織が立ち上がってない地区がある。その対応等について市はどう考えるか。</p> <p>⑪ 小学校校舎改築後の対応について 地域としては、なるべく多くの人に真砂に来てもらいたいという気持ちがある。市が借地する小学校の校舎・体育館部分には相当の家屋の新築が可能となることから、仮に、今後新校舎の建設が終われば、速やかに、旧校舎を解体・更地化し、所有者に土地を返還するよう努めてほしい。</p> <p>⑫ 市営住宅の入居条件について 下波田町の市営住宅1軒を修繕されたが入居者のない状況。勿体ないので、家賃等の入居要件を緩和し、広く入居者を募集した方が良いと考えるが、こうした対応が可能か。</p>	<p>⑦今後の宿題として承りたい。</p> <p>⑧7月5日の休校措置は各学校の判断で行った。このたびは一部の地域で被害が集中し、結果だけを見れば、登下校が可能な学校もあったが、「直ちに命を守る行動をとってください。」とのテレビ報道を受け、「早く休校の連絡をすべき」とのご意見が多く寄せられたのも事実。 こうした特別警報が発令された場合、住民が抱える不安や恐怖を考えると、今後は、一律休校の措置とするよう考えている。当然、指摘の状況も予測されるが、一方で、迅速に判断することのメリットもある。 市としては、なるべく混乱が少なく、被害が最小限に抑えられるよう対応していきたい。</p> <p>⑨要望をいただいたことを関係課に伝え、対応したい。</p> <p>⑩逆に、モデル地区に該当しないところで、既に設立・認定に至った地区もある。これらは、地域の実情によるものがあり、市としては、今後設立がスムーズに進むよう支援をしたいと考える。</p> <p>⑪要望の内容を教育委員会に伝えたい。</p> <p>⑫制度上、困難である。</p>
---	--